

## ジンバブエ経済（関連報道とりまとめ：6月16日～30日）

- 1 ジンバブエ中央銀行（RBZ）が政策金利を 35%から 30%へ引き下げ
  - 2 ガソリン価格が 1 リットルあたり 1.98 米ドルに低下
  - 3 2025 年の経済成長率は 8.3%
  - 4 鉱業商工会議所（CoMZ）年次総会がビクトリア・フォールズで開催
    - （1）リチウム業界の国際価格に対する脆弱性
    - （2）鉱業部門最大のリスクは国際金融市場での資金調達
    - （3）ジンバブエが今後数年でアフリカ最大のプラチナ生産国になる可能性
  - 5 政府がアジア・インフラ投資銀行（AIIB）と同行加盟に向けた協議を実施
  - 6 サトウキビ産業開発戦略（2026-2035）を閣議決定
  - 7 政府が 3 度目の GDP 統計改訂を 2028 年以降に実施予定
  - 8 ジンバブエ証券取引所（ZSE）と中小企業開発公社（SMEDCO）が起業家支援で提携
  - 9 タバコ生産増も価格下落で収益低下の見通し
  - 10 ジンバブエ歳入庁（ZIMRA）の課税執行強化が企業の新規上場を抑制の恐れ
  - 11 水処理薬品メーカーのチルムンド・ケミカルズ社が輸出拡大
- 

### 1 ジンバブエ中央銀行（RBZ）が政策金利を 35%から 30%へ引き下げ

ジンバブエ中央銀行（RBZ）は、政策金利を 35%から 30%へ引き下げた。これは 2024 年 4 月の ZiG 導入後初の利下げとなる。ムシヤヴァヌ RBZ 総裁は、「金融緩和ではなく、現状に即した調整」と説明した。ターゲット・ファイナンス・ファシリティ（当館注：TFF、商業銀行を通じた製造業向け低利融資）の金利も 20%→15%へ引き下げた。法定準備率は据え置いた。（17 日付ヘラルド紙 1 面）

（リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/rbz-cuts-interest-rate-as-inflation-eases-zig-maintains-stability/>）

### 2 ガソリン価格が 1 リットルあたり 1.98 米ドルに低下

中東情勢の緩和を受け、政府は燃料小売価格の引き下げを開始し、今週からガソリンを 1 リットルあたり 2.08 米ドルから 1.98 米ドル、ディーゼルを同 2.09 米ドルから 1.99 米ドルに引き下げた。米イラン合意で海峡再開、国際原油価格が 1 バレル 86 米ドル未満へ下落したことで、今後さらなる価格引き下げが期待されている。（20 日付ヘラルド紙 1 面）

（リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/fuel-prices-fall-as-middle-east-tensions-ease/>）

### 3 2025 年の経済成長率は 8.3%

ジンバブエ国家統計局（ZIMSTAT）の発表によると、ジンバブエの 2025 年の経済成長率は 8.29%だった。2025 年の名目 GDP は 8,229 億 ZiG から 1.55 兆 ZiG（約 510 億米ドル）へ大幅増。部門別では製造業が GDP の 16.8%で最大、次いで鉱業 15.9%、農業 11.1%、

卸売・小売 11%、金融・保険 6.3%。農業は降雨量の増加と生産拡大で前年比 27.9%増と最も高い成長率を記録した。電力(14.9%)、宿泊・飲食(12.8%)、運輸・倉庫(10.4%)、鉱業(10.4%)も好調だった。(20日付ヘラルド紙2面)

(リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/zim-economy-grows-829pc-in-2025/>)

#### 4 鉱業商工会議所 (CoMZ) 年次総会がビクトリア・フォールズで開催

##### (1) リチウム業界の国際価格に対する脆弱性

ジンバブエ・リチウム協会 (Lithium Association of Zimbabwe) のルクウェザ会長は、鉱業商工会議所 (Chamber of Mines of Zimbabwe, CoMZ) の年次総会で、「国際価格が1トン当たり8万6,000米ドルだった2022年に多くの新規プロジェクトが立ち上がったが、その後1万4,300米ドルへ急落、リストラと遅延に直面した」と説明した。そして、価格は現在2万2,000~2万5,000米ドルまで回復したものの「市場は依然脆弱で再び急落する可能性もある」と警告した。世界的なEV需要急増→供給過多→価格暴落という流れは、ジンバブエでも雇用削減、設備投資縮小、事業計画の見直しという現実を突きつけ、バッテリー材料産業化への国家的野心にも冷や水を浴びせた。とはいえ、業界は既に20億米ドルを投じ、さらなる14.5億米ドル規模の加工施設への投資も進行中である。(20日付ニュースデイ紙3面)

(リンク：<https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200057285/lithium-crash-forces-zim-miners-to-cut-jobs>)

##### (2) 鉱業部門最大のリスクは国際金融市場での資金調達

ムセキワ CoMZ 前会長は、鉱業部門は今後5年間で生産拡大・新規開発に100億米ドル規模の新規投資が必要だが、国際金融市場での資金調達の困難が最大のリスクとなっていると警告した。過去2年で業界は記録的な業績を上げているが、多くの企業は資金調達難から内部留保に依存し、設備投資や拡張計画の進捗が鈍化している。拡張・付加価値化への投資を進める企業は、機械輸入や対外債務返済のための外貨不足に悩んでおり、輸出外貨放棄要件も重なり、キャッシュフロー圧迫、資本投資遅延の原因になっている。高額なロイヤルティ、複数の税、電力料金も競争力を削いでおり、政府には外貨市場の自由化や投資促進策の強化が求められている。(24日付ニュースデイ紙3面)

(リンク：<https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200057463/mining-boom-hits-us10bn-funding-wall>)

##### (3) ジンバブエが今後数年でアフリカ最大のプラチナ生産国になる可能性

英国の鉱業コンサル大手SFA オックスフォード社 (SFA Oxford) は、ジンバブエが今後数年で南アを抜きアフリカ最大のプラチナ生産国になる可能性が高いと予測している。南アの鉱山が老朽化や採掘レベルの深部化でコスト高となる中、ジンバブエのグレートダイク鉱床は浅く、機械化・増産余地が大きい。世界のプラチナ埋蔵量の78%超が南部アフリカ、特に南アとジンバブエに集中しており、ジンバブエの埋蔵量は約3,200万オンスに上る。主要生産者はジンプラッツ社 (Zimplats)、ミモサ鉱山 (Mimosa)、ウンキ鉱山 (Unki) の3鉱山で、今後はカロ・プロジェクト (Karo Resources)、ムタパ・プ

ラチナ社 (Mutapa Platinum Group) 等の新規プロジェクトによる生産増が期待される。  
(29 日付ヘラルド紙 1 面)

(リンク : <https://www.heraldonline.co.zw/zim-to-emerge-top-platinum-producer-expert/>)

#### 5 政府がアジア・インフラ投資銀行 (AIIB) と同行加盟に向けた協議を実施

政府は、アジア・インフラ投資銀行 (AIIB) への加盟・資金調達を目指し、中国・北京で高官級協議を実施した。財務・経済開発・投資促進省の公式声明によれば、5 月に正式な加盟意思表明を提出後、ヌーベ財務・経済開発・投資促進大臣らが AIIB 総裁・幹部と会談を行い、NDS2、ビジョン 2030 実現のためのインフラ開発、気候変動対応、水資源、エネルギー、都市開発、民間資本動員などの優先課題で協力可能性を協議した。AIIB 側はジンバブエの最近のマクロ経済安定や一桁台インフレ達成を評価。今後は技術協議を継続し、加盟、プロジェクト案件形成の具体化を目指す。(20 日付デイリーニュース紙 4 面)

#### 6 サトウキビ産業開発戦略 (2026-2035) を閣議決定

政府は、2035 年までにジンバブエをサトウキビとその副産物 (エタノール等) の生産大国へと変革するための「サトウキビ産業開発戦略 (Zimbabwe Sugar Cane Industry Development Strategy)」を閣議決定した。計画では、サトウキビ収量を 1ha あたり 81 トンから 110 トン、砂糖生産量を年間 40 万トンから 50 万トン、エタノール生産量を 1.55 億リットルから 6 億リットル、砂糖輸出量を 10 万トンから 20 万トンへ拡大する。インフラの近代化、研究開発、官民連携、小規模農家支援を柱とし、バリューチェーンの多角化 (バイオ燃料、肥料、飼料、バイオプラスチック等) で農村産業化、エネルギー供給、輸出拡大を推進する。(24 日付ヘラルド紙 1 面)

(リンク : <https://www.heraldonline.co.zw/new-strategy-to-cut-fuel-import-bill/>)

#### 7 政府が 3 度目の GDP 統計改訂を 2028 年以降に実施予定

政府は、今後 2 年以内に 3 度目となる経済統計の基準改定 (rebase) を行う方針で、これにより GDP 等主要指標が大幅に変動し、ビジョン 2030 の高中所得国入り達成が、実質的成長によるものか統計上の調整によるのか分かりにくくなる恐れがある。過去の 2018 年及び 2025 年の改訂 (2025 年 7 月報【経済】2 項参照) では、GDP 規模や産業構成が大きく見直され、インフォーマル部門の活動も反映されたが、外国為替の歪みや計算手法の変更が統計の解釈を難しくしている。政府は「5 年ごとの改訂は国際標準」と説明し、2027 年から作業を開始し 2028~29 年に完了予定と発表した。(25 日付ニュースデイ紙 2 面)

(リンク : <https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200057534/mthuli-to-rebase-economy-again>)

#### 8 ジンバブエ証券取引所 (ZSE) と中小企業開発公社 (SMEDCO) が起業家支援で提携

23 日、ジンバブエ証券取引所 (ZSE) と中小企業開発公社 (SMEDCO) は、スタートアップや中小企業 (SMEs) への資金アクセス拡大を目指し、ジンバブエ・アントレプレナーシップ証券取引所 (ZEEX) 設立に向けて提携覚書 (MoU) を締結した。SMEDCO の草の根ネットワークと ZSE の資本市場インフラを組み合わせることで、従来銀行融資が困難だった新興企業に資金調達の新たな選択肢を提供する。(25 日付ニュースデイ紙ビジネス 1 面)

(リンク : <https://www.newsday.co.zw/business/article/200057516/zse-smedco-join-forces-to-bridge-sme-funding-gap>)

## 9 タバコ生産増も価格下落で収益低下の見通し

タバコのオークション価格は 23 日時点で 1kg あたり 2.54 米ドルまで回復し、シーズン序盤の低迷から約 59% 上昇したが、依然として前年水準は下回っている。今季は販売量が過去最高ペースの 3 億 3,060 万 kg に達したが、平均価格の 25% 下落で外貨収入は伸び悩み、仮に 4 億 kg の記録的生産を達成しても推定収入は約 10.2 億米ドルと前年の 12 億米ドルを下回る可能性がある。価格低下と今後のエルニーニョ干ばつのリスクが農家の支出や来季の農業活動を抑制する懸念も指摘されている。(25 日付ニュースデイ紙ビジネス 2 面)

(リンク : <https://www.newsday.co.zw/business/article/200057517/zim-tobacco-auction-prices-rebound>)

## 10 ジンバブエ歳入庁 (ZIMRA) の課税執行強化が企業の新規上場を抑制の恐れ

ジンバブエ歳入庁 (ZIMRA) の税務監査・課税執行強化は、企業によるジンバブエ証券取引所 (ZSE)、ビクトリア・フォールズ証券取引所 (VFEX)、新設予定のジンバブエ・アントレプレナーシップ証券取引所 (ZEEX) への新規上場の意欲をそぐ要因となり、資本市場の成長を阻害する恐れがある。近年、ZIMRA は税基盤拡大のため 10 万人の新規納税者登録と 90 億米ドル超の税収目標を掲げ、監査や遡及課税を強化。これにより企業の資金繰り悪化や投資減退が生じており、業界団体は「厳しい税環境がビジネスの最大の障害」と指摘する。企業は「上場により利益や運営情報を公開すれば過度な税監査を招く」と警戒している。(28 日付スタンダード紙ビジネス 1 面)

(リンク : <https://www.newsday.co.zw/thestandard/business/article/200057707/zimra-blitz-imperils-capital-markets>)

## 11 水処理薬品メーカーのチルムンド・ケミカルズ社が輸出拡大

水処理薬品メーカーのチルムンド・ケミカルズ社 (Chilmund Chemicals) は、ザンビア、モザンビーク、アンゴラ、コンゴ民主共和国 (DRC) など地域市場への輸出を拡大している。2007 年に商社として創業した同社は現在、水処理に不可欠な硫酸アルミニウムを月産 7,200 トンの体制で製造し、国内需要 (月 1,800 トン程度) を超える余剰分を地域市場へ輸出している。2024 年の SADC 工業化週間 (2024 年 8 月月報【経済・経済協力】参照) を契機に域内バルク供給先を獲得し、年内にさらに 2 カ国への進出も交渉してい

る。今後はビンドゥーラに自社工場を建設し、原材料の現地調達率向上も計画している。7月開催のジンバブエ工業化会議・エキスポ（Zimbabwe Industrialisation Conference and Expo 2026）では、地域バリューチェーンの中核を担う地場企業モデルとして自社の成長ストーリーを発信する予定。（29日付ヘラルド紙ビジネス1面）

（リンク：<https://www.heraldonline.co.zw/chemicals-maker-chilmund-expands-into-regional-markets/>）